

令和7年5月30日公表

令和6年漁業・養殖業生産統計

令和6年の漁業・養殖業生産量は363万4,800 tで、前年に比べて5.1%減少
— 海面漁業の漁獲量は278万7,100 tで、前年に比べて4.8%減少、 —
海面養殖業の収穫量は80万1,200 tで、同5.9%減少

【調査結果の概要】

令和6年の漁業・養殖業の生産量は363万4,800 tで、前年に比べて19万5,000 t (5.1%) 減少した。

- 1 海面漁業の漁獲量は278万7,100 tで、かつお等が増加したものの、まいわし、うるめいわし等が減少し、前年に比べて13万9,300 t (4.8%) 減少した。
- 2 海面養殖業の収穫量は80万1,200 tで、ほたてがい、わかめ類等が減少し、前年に比べて5万300 t (5.9%) 減少した。
- 3 内水面漁業・養殖業の生産量は4万6,502 tで、内水面漁業は、しじみの漁獲量が増加したものの、さけ・ます類等の漁獲量が減少し、内水面養殖業は、ます類等の収穫量が増加したものの、うなぎ等の収穫量が減少し、前年に比べて5,406 t (10.4%) 減少した。

図1 海面漁業主要魚種別漁獲量の推移

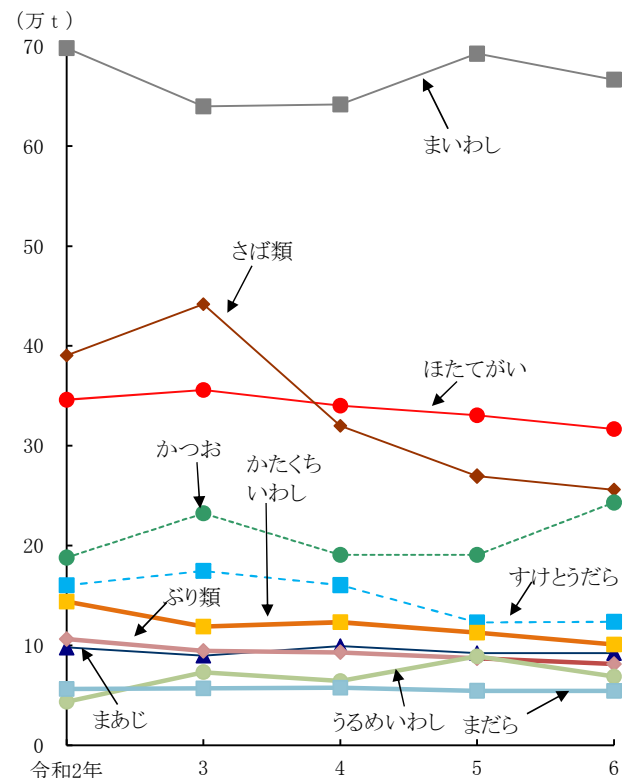
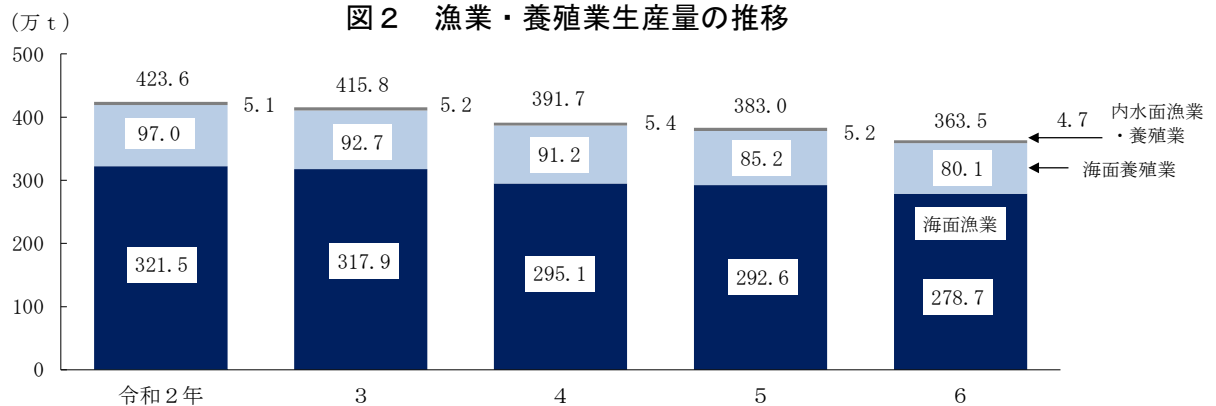


図2 漁業・養殖業生産量の推移



注：統計数値については単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下同じ）。

◎累年データ

1 生産量の推移

単位：千t

年 次	合計	海 面						内 水 面		
		計	漁 業				養 殖 業	計	漁 業	養 殖 業
			小 計	遠 洋	沖 合	沿 岸				
平成 27 年	4,631	4,561	3,492	358	2,053	1,081	1,069	69	33	36
28	4,368	4,305	3,273	334	1,945	994	1,033	63	28	35
29	4,306	4,244	3,258	314	2,052	893	986	62	25	37
30	4,427	4,371	3,366	349	2,048	969	1,005	57	27	30
令和 元	4,204	4,151	3,235	329	1,977	930	915	53	22	31
2	4,236	4,185	3,215	298	2,046	871	970	51	22	29
3	4,158	4,106	3,179	279	1,963	937	927	52	19	33
4	3,917	3,863	2,951	262	1,804	886	912	54	23	32
5	3,830	3,778	2,926	254	1,801	871	852	52	22	30
6 (概数)	3,635	3,588	2,787	291	1,735	761	801	47	18	29

資料：農林水産省統計部「漁業・養殖業生産統計」（以下2において同じ。）

注：海面漁業における「遠洋」、「沖合」及び「沿岸」の内訳は、下記URLの用語の解説を参照。

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kaimen_gyosei/gaiyou/#11a

2 海面漁業主要魚種別の漁獲量の推移

単位：千t

年 次	まいわし	ほたて がい	さば類	かつお	すけと うだら	かたくち いわし	まあじ	ぶり類	うるめ いわし	まだら
平成 27 年	311	234	530	248	180	169	152	123	98	50
28	382	214	507	228	134	171	125	108	98	44
29	498	236	519	219	129	146	145	120	73	44
30	524	305	545	248	127	111	118	100	55	51
令和 元	561	339	452	229	154	130	97	109	61	53
2	698	346	390	188	160	144	98	106	43	56
3	640	356	442	232	175	119	90	95	73	57
4	642	340	320	191	160	123	99	93	64	58
5	693	331	270	192	123	113	92	87	89	55
6 (概数)	667	317	256	243	124	101	92	81	69	55

【調査結果】

1 海面漁業・養殖業生産量

(1) 海面漁業（統計表 1（1）～（5）参照）

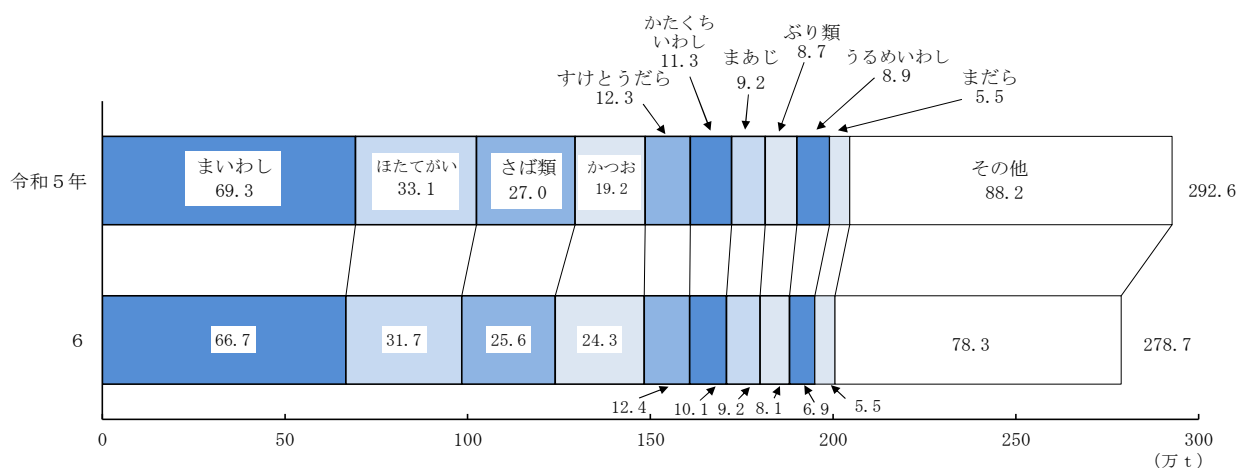
令和 6 年の海面漁業の漁獲量は278万7,100 t で、かつお等が増加したものの、まいわし、うるめいわし、ほたてがい、さば類等が減少し、前年に比べて13万9,300 t（4.8%）減少した。

漁獲量の多い上位 5 魚種（まいわし、ほたてがい、さば類、かつお及びすけとうだら）の動向をみると、次のとおりである。

- (ア) まいわしは66万6,700 t で、前年に比べて 2 万6,000 t（3.8%）減少した。
- (イ) ほたてがいは31万6,700 t で、前年に比べて 1 万3,900 t（4.2%）減少した。
- (ウ) さば類は25万6,000 t で、北海道、茨城県等で減少し、前年に比べて 1 万3,600 t（5.0%）減少した。
- (エ) かつおは24万3,100 t で、静岡県、宮城県等で増加し、前年に比べて 5 万900t（26.5%）増加した。
- (オ) すけとうだらは12万3,600 t で、前年に比べて600 t（0.5%）増加した。

注：本調査においては、海面漁業経営体の所在地に集計値を計上した（以下(2)において同じ。）。

図 3 海面漁業魚種別漁獲量



(2) 海面養殖業（統計表1(6)、(7)参照）

令和6年の海面養殖業の収穫量は80万1,200 tで、ほたてがい、わかめ類等が減少し、前年に比べて5万300 t（5.9%）減少した。

ア 魚類養殖

魚類養殖の収穫量は25万1,200 tで、前年に比べて7,800 t（3.2%）増加した。

(ア) ぶり類の収穫量は13万2,100 tで、愛媛県、大分県等で増加し、前年に比べて8,600 t（7.0%）増加した。

(イ) まだいの収穫量は6万8,400 tで、前年に比べて1,100 t（1.6%）増加した。

図4 魚類養殖の魚種別収穫量

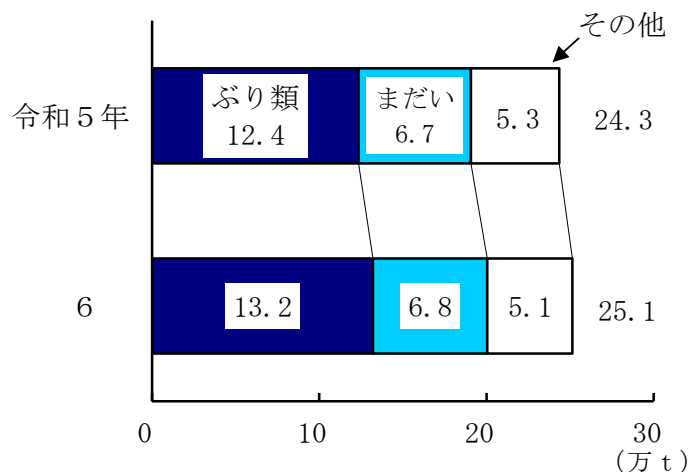
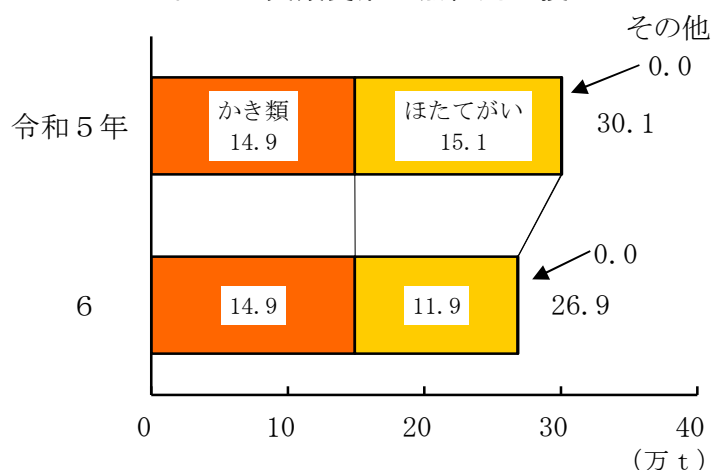


図5 貝類養殖の魚種別収穫量



注： このグラフで用いる「0.0」は、単位に満たないものを示す（例：0.04 t → 0.0 t）

イ 貝類養殖

貝類養殖の収穫量は26万9,000 tで、前年に比べて3万1,800 t（10.6%）減少した。

(ア) かき類の収穫量は14万9,100 tで、前年並みとなった。

(イ) ほたてがいの収穫量は11万9,400 tで、青森県等で減少し、前年に比べて3万1,900 t（21.1%）減少した。

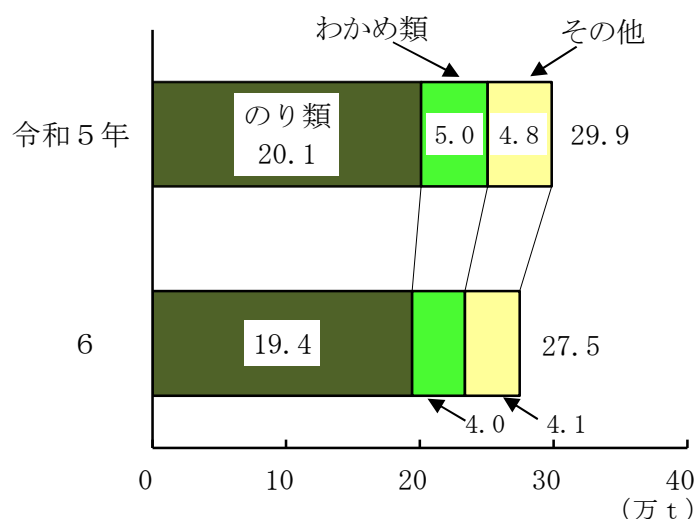
ウ 海藻類養殖

海藻類養殖の収穫量は27万4,600 tで、前年に比べて2万4,000 t（8.0%）減少した。

(ア) のり類の収穫量は19万4,100 tで、前年に比べて6,900 t（3.4%）減少した。

(イ) わかめ類の収穫量は3万9,700 tで、宮城県等で減少し、前年に比べて9,900 t（20.0%）減少した。

図6 海藻類養殖の魚種別収穫量



2 内水面漁業・養殖業生産量

(1) 内水面漁業（統計表 2（1）、（2）参照）

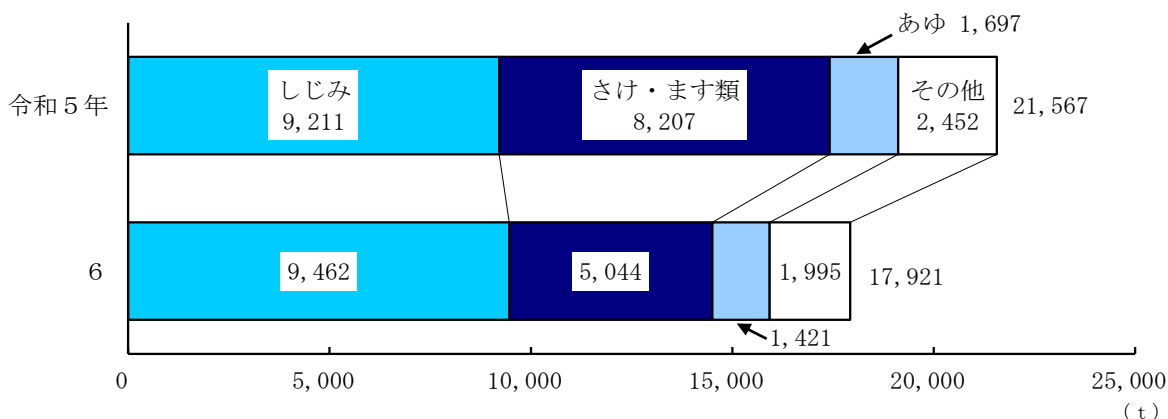
令和 6 年の内水面漁業の漁獲量は 1 万 7,921 t で、しじみの漁獲量が増加したものの、さけ・ます類等の漁獲量が減少し、前年に比べて 3,646 t（16.9%）減少した。

ア しじみは 9,462 t で、前年に比べて 251 t（2.7%）増加した。

イ さけ・ます類は 5,044 t で、前年に比べて 3,163 t（38.5%）減少した。

ウ あゆは 1,421 t で、前年に比べて 276 t（16.3%）減少した。

図 7 内水面漁業魚種別漁獲量



(2) 内水面養殖業（統計表 2（1）、（3）参照）

令和 6 年の内水面養殖業の収穫量は 2 万 8,580 t で、ます類等の収穫量が増加したものの、うなぎ等の収穫量が減少し、前年に比べて 1,761 t（5.8%）減少した。

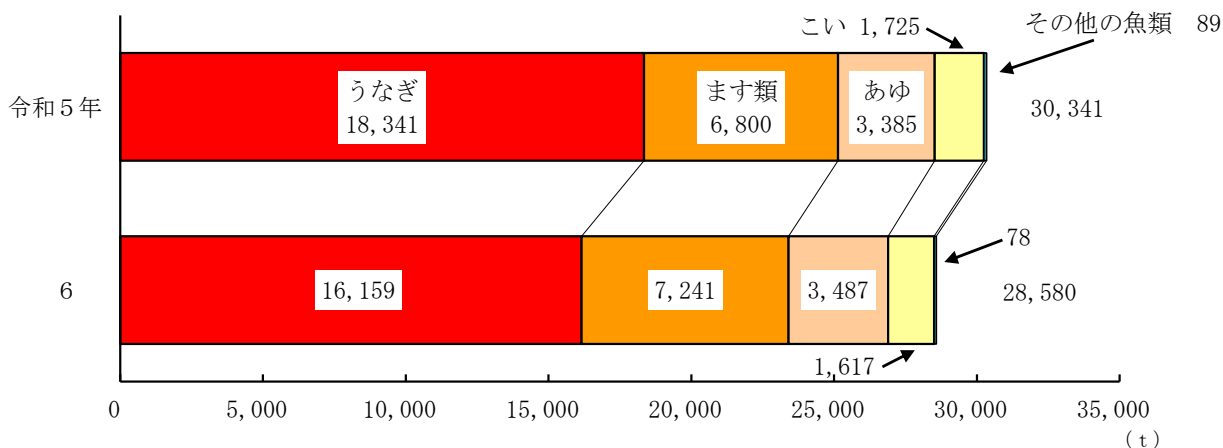
ア うなぎは 1 万 6,159 t で、前年に比べて 2,182 t（11.9%）減少した。

イ ます類は 7,241 t で、前年に比べて 441 t（6.5%）増加した。

ウ あゆは 3,487 t で、前年に比べて 102 t（3.0%）増加した。

エ こいは 1,617 t で、前年に比べて 108 t（6.3%）減少した。

図 8 内水面養殖業魚種別収穫量



(3) 観賞魚販売量（統計表 2（1）、（4）参照）

令和 6 年のにしきごいの販売量は 248 万 4,065 尾で、前年に比べて 9 万 2,511 尾（3.6%）減少した。

【統計表】

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files/data?sinfid=000040276157&ext=xls>

【調査の概要】

- ・ 海面漁業生産統計調査
https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kaimen_gyosei/gaiyou/
- ・ 内水面漁業生産統計調査
https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/naisui_gyosei/gaiyou/

【調査結果の主な利活用】

- ・ 水産基本計画における水産物の自給率目標を策定する際の資料
- ・ 資源の保存及び管理を行うための特定海洋生物資源ごとの漁獲可能量（TAC）を設定する際の基礎資料

【ホームページ掲載案内】

- ・ 本資料は、農林水産省ホームページの統計情報に掲載している分野別分類「水産業」の「海面漁業生産統計調査」及び「内水面漁業生産統計調査」で御覧いただけます。
https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kaimen_gyosei/#y
https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/naisui_gyosei/#y
- ・ 本資料の数値は概数値であり、確定した詳細な数値はホームページに掲載（令和8年2月予定）します。
- ・ 公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせします。

【関連リンク】

水産庁ホームページ

<https://www.jfa.maff.go.jp/>

お問合せ先

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部

生産流通消費統計課 漁業生産統計班

電 話：（代表）03-3502-8111 内線 3687
（直通）03-3502-8094

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部

統計企画管理官 統計広報推進班

電 話：（代表）03-3502-8111 内線 3589
（直通）03-6744-2037



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>



SAFF

データの力で。

農林水産統計
Statistics of Agriculture,
Forestry and Fisheries